

東大まちづくり大学院 都市デザイン演習（まちづくり演習第2）
2024 春

パブリックライフ／パブリックスペース スタジオ
ー観察をベースとした公共空間の診断と改善の提案ー

■担当

中島直人（都市デザイン研究室）
鈴木俊治（芝浦工業大学／ハーツ環境デザイン）
高松誠治（スペースシンタックス・ジャパン）

■期間

2024年4月6日～6月1日
毎週土曜日3限～5限（13時～18時10分）全7回

■対象

まちづくり大学院修士1年・2年
（一グループは4～5名程度で構成、合計4グループを予定）

■課題

「公共空間としての駅前広場を中心とする「えきちかく」のリノベーションプランの作成」

駅前広場を中心とした「えきちかく」の公共空間に関して、以下のような作業を行った上で、

- 1) 現在の「えきちかく」の公共空間の空間形態や使われ方、性格を観察調査によって把握する
 - 2) 現在の「えきちかく」の公共空間の空間形態や使われ方を規定する制度的要因（土地所有、法制度、管理運営体制等）や設計意図、既存計画を把握する
 - 3) その他、「えきちかく」の形成過程や土地利用等の現状や課題を住宅地図や行政資料、現地調査等で把握する
- これから目指すべき駅前広場や「えきちかく」のありかた（使われ方、空間像など）を設定し、そのありかたを実現するための空間改善アイデア、仕組みや制度的課題の解決を提案する。

■狙い

- ・都市デザイン、都市計画の基礎としての都市空間と人間行動の関係性について知見を深める。
- ・都市空間における人間行動を記録、分析、表現するための観察に基づく基本的な技術や視点を身に着ける。
- ・具体的なまち、公共空間においてデータに基づいた課題の抽出、改善の提案という一連の計画・デザインの流れを体験する。
- ・都市空間を生み出す制度的要因についての知見を深める。
- ・近年、歩行者空間化されつつある駅前広場におけるアクティビティの可能性を検討する。

■対象地

- ・JR山手線の特定の駅の駅前広場およびその周辺

■スケジュール

4月6日（土）

第1回 イン트로ダクション（中島・鈴木・高松）

- ・課題説明（中島）
- ・自己紹介レクチャー（鈴木・高松）
- ・グループ分け
- ・グループごとにプレ調査計画立案、現地訪問（任意）

→宿題：プレ調査実施計画提出

4月13日（土）

第2回 プレ調査（中島・鈴木）

- ・プレ調査実施（仮説構築） ※教員は順々に現地をまわる。
- ・調査のまとめ

→宿題：プレ調査結果のまとめと本調査のテーマ設定（次回発表）

4月20日（土）

第3回 第一回発表（中島・鈴木・高松）

- ・調査のまとめ・発表準備
- ・発表（プレ調査に基づく主題、仮説の設定）
- ・ミニレクチャー（鈴木・高松）
- ・本調査計画立案エスキス

→宿題：本調査計画

4月27日（土）

第4回 本調査（中島）

- ・本調査実施
- ・調査のまとめ

→宿題：本調査結果のまとめと提案第一案（次回発表）

5月11日（土）

第5回 エスキスチェック（中島・鈴木・高松）

- ・本調査結果の共有
- ・最終提案エスキス
- ・最終発表に向けた発表計画

5月25日（土）

第6回 エスキスチェック（中島）

- ・最終提案エスキス
- ・補足調査の実施
- ・最終発表に向けた準備

6月1日（土）

第7回 最終発表（中島・鈴木・高松+ゲスト）

- ・最終発表
- ・全体ディスカッション

■成績評価

基本的に最終成果物の出来栄で判定するが、途中段階での参加度合も考慮に入れる。

■主な参考文献

- ・ヤン・ゲール+ピアギッテ・スヴァア（鈴木俊治・高松誠治・武田重昭・中島直人訳）、『パブリックライフ学入門』、鹿島出版会、2016年
 - ・プロジェクト・フォー・パブリックスペース（鈴木俊治他訳）、『オープンスペースを魅力的にする』、学芸出版社、2005年
 - ・『賑わいづくり施策発見マニュアル』、国総研都市施設研究室、2014年
 - ・槇文彦・真壁智治編『アナザー・ユートピア』、N T T出版、2019年
 - ・出口敦他編『ストリートデザイン・マネジメント』、学芸出版社、2019年
- 他。

大学院都市持続再生学コース 東大まちづくり大学院 シラバス

講義名	パブリックライフ／パブリックスペース スタジオー観察をベースとした公共空間の診断と改善の提案—
担当教員名	中島直人（都市デザイン研究室）鈴木俊治（芝浦工業大学／ハーツ環境デザイン） 高松誠治（スペースシンタックス・ジャパン）
単位数(コマ数)	3
講義曜日・時限	土曜日3限～5限
講義目的	<ul style="list-style-type: none"> ・都市デザイン、都市計画の基礎としての都市空間と人間行動の関係性について知見を深める。 ・都市空間における人間行動を記録、分析、表現するための観察に基づく基本的な技術や視点を身に着ける。 ・具体的なまち、公共空間においてデータに基づいた課題の抽出、改善の提案という一連の計画・デザインの流れを体験する。 ・都市空間を生み出す制度的要因についての知見を深める。 ・近年、歩行者空間化されつつある駅前広場におけるアクティビティの可能性を検討する。
成績評価方法	基本的に最終成果物の出来栄で判定するが、途中段階での参加度合も考慮に入れる。

No.	講義日程	講義時限	講義者	講義形式	講義タイトル
1	4月6日	3～5限	中島・鈴木・高松	対面	イントロダクション
2	4月13日	3～5限	中島・鈴木	対面	プレ調査
3	4月20日	3～5限	中島・鈴木・高松	対面	第一回発表
4	4月27日	3～5限	中島	対面	本調査
5	5月11日	3～5限	中島・鈴木・高松	対面	エスキスチェック
6	5月25日	3～5限	中島	対面	エスキスチェック
7	6月1日	3～5限	中島・鈴木・高松+ゲスト	対面	最終発表
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					